



ぼらんていあ通信

3月号
通巻 No.496

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2023年3月23日
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: https://sagamiva.info/

若葉まつりにボランティア協会も参加します！

皆様のご参加、ご協力をお願いします。

若葉まつりは5月13日、14日の2日間で、福祉バザーは2日間とも開催します。

パレードは14日です。例年楽しみにしていたけやき会館の市社協駐車場での模擬店は開催されません。

バザー品募集

ご家庭で不要なもの（古着・食品以外）、手芸品や材料などをご提供ください。

募集期間：4月12日（水）～5月11日（木）まで
問合せ・持込時間：10時～15時

日曜日、祭日を除く

*あじさい連絡所への持ち込みが無理な方はご連絡いただければ、日時を調整して受取りに伺います。

*連絡・問合せは

相模原ボランティア協会あじさい連絡所

電話042（759）7982

ボランティア募集

多くの方のご参加をお願いします！

①福祉バザーの会場準備・値付け

5月12日（金）10時～12時

②福祉バザーの運営 13日（土）9時半～17時

14日（日）9時半～16時

③パレード参加 14日（日）10時～11時

④福祉バザーの会場片付 14日（日）16時～17時

※ご都合の良い日に2時間ほど

場所：③市役所前通り

①②④はけやき体育館です。

※バザーの値付け作業は、あじさい会館4階福祉団体コーナーです。

リーフレットが新しくなりました！

今までのリーフレットの在庫が残り少なくなったため、DVD制作実行委員会で、新しくリーフレットを作成しました。

事務局に置いてあります。ご覧ください。



Instagramを開設しました！

写真や動画をネットにアップして友達や家族とシェアできるソーシャルネットワーキングサービス『Instagram』をボランティア協会も開設しました。ボランティア協会の活動をいち早くお届けします。協会HPにもアップしています。

*アカウント名 borakyo23

*フォロワー56人・フォロー中57人

（2023年3月21日現在）



フォローをよろしくお願ひします！

2023年度役員立候補者

7氏全員が信任されました

3月20日、役員選出管理委員会にて（月）実施した理事兼役員会の信任投票の開票を行いました。その結果、立候補者7氏全員の信任を確認しました。

会員数 114名（1月31日現在）

投票総数 86票 無効票0票

投票率 75パーセント、

ご協力ありがとうございました。

2023年3月 役員選出管理委員会

会員のひろば

会員の皆さまへ、自由にお話していただくコーナーです。

私、相模原
すまきたたし
鈴木正



1. 始め

私は相模原に住んで約60年になる。その中の出来事の一部を書いてみたい。

2. 工場移転

私の勤めていた工場は、元々世田谷の池尻にあった。昭和36年に突然のように相模原移転の話が持ち上がった。

始めてみる相模原はその名の通り大きな原っぱがたくさんあり自然が豊かであるというのが第一印象であった。

昭和37年に新しい工場が相模原に出来上がり私たちも移ってきた。その時は長大重厚という時代であった。大きな物をたくさん作って経済発展にむかへた時代であった。

私の勤めていた三洋電機は地下にあり、小山工業団地であった。

3. インフラなどの状況

当時の相模原は道路の舗装率が低く、また大気の良い風下がりのおかげ、丹沢から吹く風で土埃が天に舞い上がり降ってくる時代であった。そして横浜線は単線であり路線バスも少ない稼働率であった。しかし工場へ働く人達の意識は高く、な

んとかこんな所でもパイオニアになってみせるという意識が高かった。そしてまず人集め、次男三男をまず狙え、それでも足りず、当時は炭鉱の廃坑続きだったため、勤労の人が北海道、九州に人集めに行き50数人が集めてきた。

4. 結婚そして子育て

私達は昭和40年に結婚して子供が2人授かった。その当時は家の近くに大きな原っぱがあったし、そこで子供を自由に遊ばせたり、また風上げを何の障がいもなくできたのを覚えている。非常に自然の中で子供を育てるといい環境であった。

5. ボランティア

私は十数年前から視覚障害となり今は同行あるいは家事支援のヘルパーさんにお世話になっている。そして相模原視覚障害者の会に加入し、今はコープスの先生にお世話になっている。この先生はボランティアで教えてくださったさ大変感謝している。

私は、音楽が好きである。好きな音楽を聞くこと、そして入ったであるけれどみんなの声を合わせて歌うこと、そしてちょっといいから美味しい物を食べるのがホットタイムである。

私もいつまで出来るか分からないが出来ただけ続けていきたいと思っている。
最後に私はボランティア活動の1年生！
ご協力皆様、ご指導をよろしくお願い致します。



4月の記念日は？

小倉義男

4月4日、幸せの日です。
女の子の節句（ひなまつり）が3月3日、男の子の節句（こどもの日）が5月5日、その間の4月4日が『4（し）と4（し）』の合わさる日（4合わせ）として『幸せの日』と云われている。また、男子（だんし）と女子（じょし）が歩み寄った日とも云われ、『男子と女子の夫々の「子（し）」』が合わさる日『幸せの日』と云われることもあるそうです。
4が重なるけど、不吉な数字ではないのですね（o^^o）
小倉画



お知らせ

会長 高橋 功



3月13日より感染症予防対策としてのマスク着用が「個人の判断で」との方針が出されました。ボランティア協会は、事務局、ハンディキャップ運行及び傾聴活動におおは、当面これまで通り、「基本的な感染予防対策の徹底」の方針として、「マスクを着用する」として活動します。
ご理解ご協力をお願いします。

ボランティア活動グループ訪問記



木もれびの森の一角で保活活動する
「ココモもの会」

ボランティア活動グループ訪問記

立春を過ぎたとは言えまだまだ寒い2月15日(水)、相模原SDGsパートナーに登録、さがみはら地球温暖化対策協議会の会員でもあるボランティアグループ、木もれびの森の花と木々を守る会、愛称「ココモもの会」の代表の杉山信義さん、活動副部長の内間由美さんのお二人にお話しを伺った。今回活動口では取材に答える事が難しいと言いつつ、活動口ではない今日、実際に会の活動場所である森で、伐採された立ち枯れ木の切り株で作られた椅子に腰をおろして会の成り立ちなどを聞いたあと森の中を案内していただいた。実際の活動の様子は後日お話しした。

*会の設立は…2020年4月です。

*「ココモもの会」の名称について…正式名称は「木もれびの森の花と木々を守る会」だがこれでは長くて大変なので、あれこれ考えた末の愛称です。かわいい名前ですね。

*会員数は…19名



杉山さん(右)と内間由美さん(左)



スコップ、チェーンソーなど道具の数々とココモものロゴマーク付きヘルメット

*どんな活動を行っていますか…木もれびの森の一角で森の保全活動をしています。生物多様性の高い持続可能な温暖化対策として有効な森林作りを目指しています。一般市民を対象とした森の散策や体験講座の開催、また、市・公民館・自治会のイベント参加など自然保護普及啓発活動にも取り組んでいます。活動日は毎月第2・4水曜日。チェーンソー、刈払機、ノコギリ、手鎌などを使用して作業を行います。

三木卓さんが会のPR動画作成のため参加されていた。私達2人の計13名。全員ヘルメットを装着する。皆さんでミーティング、今日の活動予定は立ち枯れ木の伐採。道具を持ち対象となる木の元へ移動。木の回りの下草刈りをする。アスファルトがほとんどで根が張っているため刈るのもなかなか大変だった。木を倒す方向を決め、ロープをかけ、チェーンソーで切っていく。切る人の声がかかると、皆でロープを引く。チェーンソー、ヨイショッ、チェーンソー、ヨイショッと声をかけ合う。バリバリバリ、ドゥーンと木が倒れる。すごい声だった。切る人、引っ張る人お互いに声をかけ合い安全に気をつけて行う。私達も充分間隔を空けて。この日は計3本の木を伐採した。倒された木の根元は下草が刈られ、太陽の光が地面まで届く。この跡に花が咲いたり、ドングリの木などが芽を出すかも知れませんがねと話してくれた。

森の中を案内していただく。通路脇には伐採された木の幹、枝が寄せられている。落ち葉がつもったままの地面はふかふかであたためたい。アスファルトの道路に慣れている足にはとても気持ちが良い。この木の幹、枝、落ち葉が月日を経て朽ちる。それが栄養となり森の花や木々を育てる。敢えて撤去せずに置くという。ちょっと残念なことがあった。以前、幹や枝で囲いを作り、ごみくず、マユミなどの若木を植えた場所が跡形もなく取り払われていた。「せっかく植えたのに、なぜこんな事を」と肩を落としていらした。翌週2月22日(水)、会の活動口にはたたび伺った。

森を守り育てる活動ですね。相模原にこうした森が沢山残って欲しいと思います。(植野 小山)

会員の男性4人、女性5人、相模原ボランティア(正式名称、相模原市市民活動中間支援施設連絡会)より青山学院大学「コミュニティ人間科学部1年生小鮎巧美さん



青山学院大学生の小鮎さん(右)と三木さん(左)



木を伐採するために、木の周りの下草を刈り、倒す方向を決め、木に切り込みを入れて!

*ココモもの会 代表 杉山信義
〒252-0231
相模原市中央区相模原4-3-20-1404
電話 090-9954-0190

理事会報告

3月11日(土) 定例理事会(理事の名出席)

一、報告事項

◆広報委員会

- ・ぼら通2月号 2月20日印刷、21日発送
- ・ぼら通3月号 3月22日印刷、23日発送
- ・若者サポートステーションから8名参加予定

◆インフタグラム開設

◆HC委員会

- ・11号車点検・修理後概ね問題無し
- ・新規運転手の国交省講習費負担可否検討
- ・ハンディキャップの料金改定について検討開始

◆定年到達の運転ボランティア岸氏への感謝状・記念品贈呈

◆事務局委員会

- ・正会員登録更新の方法を確認
- ◆講座検討委員会
- ・春講座受講者拡大策検討

◆傾聴委員会

・新人10名の内7名が継続決定

・傾聴希望者拡大進捗あり

◆DVD制作実行委員会

・「共に歩く仲間たち」を制作中

◆その他

①ボウリング大会

・名称は「交流ボウリング大会」に決定

②「若葉まつり」にパレード・バザーで参加

③南福祉交流라운ジの「라운ジふくしま」に参加

④「地域活動マッチング相談会」に参加

⑤地域包括ケア推進部主催の「住民が作る外出支援」に参加

二、審議事項

◆定期総会準備関連

・令和5年度予算案協議

・役員改選に伴う担当変更を4月15日臨時理事会終了後に協議

【次回定例理事会 4月8日(土) 10時より】

【臨時理事会 4月15日(土) 10時より】



クイズに挑戦

春に関する漢字クイズです。漢字を読むしながら春を感じてくださいね。

- ① 鯖
- ② 蒲公英
- ③ 春年古鳥
- ④ 艾
- ⑤ 筆頭菜
- ⑥ 鳳蝶

50代から始める
地域福祉活動
マッチング相談会



3月18日(土)午後3時から4時まで橋本公民館で開催された「50代から始める地域活動マッチング相談会」に当協会も参加しました。相模原市地域包括ケア推進課主催で参加団体は11団体でした。市内各地域でボランティア活動や趣味を生かした活動などで活躍している団体です。

パネルによる活動の紹介、また対面で直接お話しも聞けました。夫が外に出たがらないので何かきっかけを求めて来られた。次週の25日(土)に行われるボランティア見本市 Part 2にも興味を持たれた方や、相談会の前に開催された講演会の流れで立ち寄りしましたが、自分の興味を持ったことについてお話が聞けて良かったと帰られた方など、各々のブースでは熱心に話し込む様子が見られました。

それぞれ参加された理由は違いますが、何か一歩を踏み出すきっかけになれば良いですね。(小山)

相模原ボランティア協会 4月の予定

日(曜)	時間	内容
1(土)	13:30~	HC委員会
7(金)	14:00~	講座検討委員会
8(土)	10:00~	定例理事会
10(月)	10:00~	DVD制作実行委員会
11(火)	10:30~	広報委員会・ぼら通部会
15(土)	10:00~	臨時理事会
	13:00~	事務局委員会
24(月)	10:00~	総会議案書印刷
25(火)	10:30~	ぼら通4月号印刷
	13:00~	ぼら通4月号発行
		総会議案書発送

クイズの答え

- ①さなら ②たんぽぽ ③うぐいす
- ④よもぎ ⑤つくし ⑥あげはちょう



オハママア その2

優しい出逢いと暖かい温もりが言葉

心は解放され癒されましょー

ケアラースカフェ モンステラ を訪問

ケアラーさんの集える場所



2月28日(火) 正午頃、

近頃いづれか迷ってしまおう、

結局ご主人(山田豊徳さん)に

迎えて来てもらい、ようやくモンステラに到着。

私達を待ち受けていた皆さんから、とっさにと促され家の中に足を踏み入れると、そこは別世界！メルヘンチックなおとぎの世界が広がっていた。奥のテーブルとイスで8人の方が、明るい笑顔でインタビューに答えてくれた。



モンステラ



マスクの下にはみなさんの笑顔が♪

勢だから値上げしない方がいいのかと心配などの感想を伺っている、こんな素敵なカフェを運営しているのはどんな方なのか、お人柄をぜひ詳しく知りたいと思った。

2018年11月1日 相模原市で初めてケアラースカフェをオープンさせた山田美子さんの紹介。



由美子さんは風邪も引けないという思いから、長い

孤独な介護生活の疲労がたまりつつ病を発症。さらに大腸がんの手術も受ける事態になり、毎日病気のよう

ばかり考えるようになっていた。そんなある日、友人に誘われてハワイに行き澄台地に立つと、地球は丸いことを実感し感動！ またハワイには入院・治療を受けた人が入院を終えて帰宅する前に、ケアラー(家族介護者)が受け入れるにはどうすればいいか、講習を受け学ぶ機会があるというのを知り、自分にも病気に向き合っただけでなく、他にやれることがあるのではないかと思うようになった。しかし、外に出ていくのは体力的に大変だから、逆に皆さんに来ていただけるような場所を作ればいいと考え、ちよつと定年を迎えたご主人の共感を得て、二人で今の雰囲気仕立てたカフェを開くことにした。人が本当に来してくれるのか心配だったが、誰も来ない日は天気の良い一日と、新型コロナウイルスの緊急事態宣言が出て休んだ時だけだった。10畳の洋室だけで始め、人が増え奥の部屋も解放し今に至っている。自分のようにケアをしている人達(ケアラー)が悩みを相談したりストレスを発散して癒されて欲しいと願い、自分のためになるからと始めたのだが、今では自分たち二人同様に、来訪する人達にも豊かな幸せを与えてくれる場所になったことが、なにより嬉しいと、目をきらきら輝かせ、優しい口調で話していった。

ちなみに、モンステラとは植物の名で、花言葉は「希望の光を導く」。

こんな童話の世界が現実存在するという驚きと帰りたいか、ずっといたいという居心地のよさはどこからくるのか。その上に、自分の中に眠っていた童心を自覚させてくれたという不思議な体験をした。ことばで言い表せないのも、皆さんにぜひ行って自分も味わって欲しいもの！ (恒藤・山崎)

ケアラースカフェ モンステラ

252-0321 相模原市南区相模台2-20-8
TEL&FAX 042-749-8527

OPEN 10:00~16:00
毎週 火曜日・土曜日

火曜日 焼きたて「がんばろうパン」
11:30より販売開始
土曜日「お楽しみ600円ランチ」
12:00より販売開始



パンの種類も豊富!
1個80円です!!

前日午前中までに電話予約をお願いします。
*パン・ランチとも売り切れ次第終了となります。
都合によりお休みさせていただく場合があります。
詳しくはHPをご覧ください。
*ケアラースカフェ モンステラは市民活動団体です。



童話の世界に入りこんだようなお部屋



ドアを開けるとお雛様がお出迎えを!

ボランティアさん募集！ 学習支援の場 ボランティア！

団体名 さがみはら みらい塾
日 時 毎週土曜日 午前 10 時～正午、
午後 1 時 30 分～5 時 30 分のうち、可能な時間
場 所 デジタルコンテンツ研究会 矢部研修所
(中央区矢部4-4-9)
内 容 小学4年生～中学3年生のお子さんの学習サポート
子どもに勉強を教えた経験のある方、大歓迎です！
申込み 電話にて担当・西村氏にご連絡ください。
連絡先 042-711-7454



☆右の二次元コードから「子どもの居場所情報サイト」が
閲覧できます。他の居場所の活動情報も調べてみてください！

連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター : 電話 042(786)6181

FAX 042(786)6182

メール : svc@sagamiharashishakyo.or.jp



ご寄付をありがとうございました。

皆さまのご寄付は当協会の運営に有効
かつ大切にに使わせていただきます。

<2月の寄付者>

切手グループ 様

その他3名の方からご寄付を頂きました。

<2月の寄付金>

261,240円でした。



山口尚美画

《今月のイラスト》
あなたにも
春の気配をおすそわけ
…

編集後記

今朝(3月16日)のわが家付
近の最低気温は3℃でした。
今年の今迄の最低気温は
5℃の晴天でした。
今年の真夏の気温はどの
うでしょうか。
40℃近くあるでしょうか。
(勝)

会員登録

会員登録のお願い

来年度の会員登録が四
月一日から始まります。
引き続き会員登録の更
新をよろしく願います。
お手数ですが、あじさい連絡
所において下さるか、同封の郵
便振込で会費を納入いただく
ことにより更新手続きができ
ます。

ご住所等、登録内容に変更の
ある方は併せてご連絡下さい。
事務局